リレー

二年　海江田　篤志

　リレーのスタートの時、先生が鳴らしたバーンという大きな音が聞こえた。みんなは、前を向いて走っていた。

　ブルーチームの人が先にアンカーにバトンをわたした。ぼくの前を走っていた人が口を開けてつらそうに走って来た。

　ブルーチームがライオン3頭分ぐらい前を走っていた。水筒置き場、家族や知っている人の顔がスッと見えた。後ろを走っている人の足音は聞こえなかった。

　ブルーチームがライオン2頭分くらい前にゴールした。下におちているゴールテープをふんだ。全員がゴールした後、はく手がパチパチ聞こえた。

　つかれていたので、夢は何も見られなかった。